

## Press Release

August 2008

### AUTOSAR リリース新仕様: 車載診断装置を含むリリース 3.1

2008年8月15日、AUTOSAR 開発パートナーシップはOBD II規格に従い、車載診断装置の実装規定を初めて定義した新仕様をリリースしました。新リリース 3.1 のため、前回のリリース 3.0 の 11 の仕様をエンジニアが改良しました。“この新リリースは欧州と日本にとって、さらに特に北米市場において重要なものです。OBDについて定める規定は、世界で最も大規模なものです。今後、AUTOSARは世界規模での適用が可能となります。”とAUTOSAR スポークスパーソンであり、ロバートボッシュ GmbH オートモーティブ システム インテグレーション部門 のヴァイスプレジデント部長 ドクター ユルゲン メッツモエツシinger ( Dr. Juergen Moessinger ) はコメントして述べます。

車載診断装置は 1980 年代後半にカリフォルニアで初めて導入されました。その主要なタスクは、車両が走行中のすべての排気ガス関連データを監視し、運転手に基準からのずれを知らせることです。従って、車載診断装置は、車両の全耐用年数を通じてした排気ガス出規制への準拠ということの促進において重要な役割を果たします。同様の規制は現在、欧州と日本にも存在しています。

最新のAUTOSAR リリースは 140 の仕様から構成され、インターネットサイト [www.autosar.org](http://www.autosar.org) からアクセスすることが可能になっています。メンバーは各ECUソフトウェア開発のため、AUTOSAR 仕様を無償で利用することができます。

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は自動車メーカー、サプライヤーまたエレクトロニクス、半導体およびソフトウェアを専門とする企業の世界規模の開発パートナーシップです。

2003 年からこれらの企業は、自動車業界のための開かれたそしてオープンな標準化されたソフトウェア・アーキテクチャの開発と導入に取り組んで

ています。AUTOSARの仕様を活用することによって取り組みで、ソフトウェアとハードウェアの交換およびアップデートを容易にすることが出来ます。により増大する自動車用の車載電気 / 電子システムの複雑化ということに対して確実に管理していくことが出来るようになっていきます。性の確実な管理基盤を形成します。またAUTOSARは品質面での妥協することなく、コスト効率を向上させることが出来ます。AUTOSARのコアパートナーはBMWグループ、Bosch、Continental、Daimler、Ford、Opel、PSA Peugeot Citroën、トヨタ自動車株式会社、Volkswagenです。さらにおよそ 50 社の“プレミアムメンバー”がパートナーシップの成功で重要な役割を果たしてきています。AUTOSARの開発パートナーメンバーシップに参加する企業はAUTOSAR仕様を無償で利用することができます。

お問い合わせ:

[www.autosar.org](http://www.autosar.org)

[media@autosar.org](mailto:media@autosar.org)